

群馬工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	電子メディア工学序論	
科目基礎情報							
科目番号		1E004		科目区分		専門 / 必修	
授業形態		授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		電子メディア工学科		対象学年		1	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		セ`ロから分かるUNIX基礎講座:中井 猷:技術評論社:9784774139807, 情報リテラシー教科書 Windows 10/Office 2019対応版:矢野 文彦:オーム社:9784274224447, 自作Web教材					
担当教員		布施川 秀紀					
到達目標							
1.UNIXの操作をすることができる。 2.ワープロソフトを使うことできる。 3.表計算ソフトを使うことか。 4.プレゼンテーションソフトを使うことできる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		UNIXのファイルシステムを理解し、コマンドを使いこなすことできる。		UNIXの基本的なコマンドを使うことできる。		UNIXの基本的なコマンドを使うことできない。	
評価項目2		ワープロソフトを使って、複雑な文書を作成することできる。		ワープロソフトを使って、簡単な文書を作成することできる。		ワープロソフトを使って、文書を作成することできない。	
評価項目3		表計算ソフトを使って、複雑な表を作成することできる。		表計算ソフトを使って、簡単な表を作成することできる。		表計算ソフトを使って、表を作成することできない。	
評価項目4		プレゼンテーションソフトをつかって、効果的なスライドを作成することできる。		プレゼンテーションソフトをつかって、簡単なスライドを作成することできる。		プレゼンテーションソフトをつかって、スライドを作成することできない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		この科目で`は、主にコンピ`ユーターリテラシーを扱う。コンピ`ユータの基本的な操作法とUNIX入門、電子メールを使う上でのエチケットと電子メールの使い方のほか、実験報告書の作成に必要なワープロや表計算ソフトの使用、卒研発表で`必要なプレゼンテーションソフトの使い方を学習する。					
授業の進め方・方法		教科書、自作Webテキスト等を使ってPC画面上で操作方法を説明し、その後実習を行う。					
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	機器の説明,コンピ`ユータへのLogin, 初期設定		本校の学生用PCへのLogin, 初期設定ができる。		
		2週	電子メールの使い方 コンピュータネットワーク利用のマナー		電子メールの使い方やコンピュータネットワーク利用マナーを理解する。		
		3週	ワープロソフト (Word) の使い方1		ワープロソフトで文書を作成することできる。		
		4週	ワープロソフト (Word) の使い方2		ワープロソフトで文書を作成することできる。		
		5週	表計算ソフト (Excel) の使い方1		表計算ソフトで簡単な表を作成することできる。		
		6週	表計算ソフト (Excel) の使い方2		表計算ソフトで基本的な関数と使うことできる。		
		7週	表計算ソフト (Excel) の使い方3		表計算ソフトで基本的な関数と使うことできる。		
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	プレゼンテーションソフト (PowerPoint) の使い方1		プレゼンテーションソフトで簡単なスライドを作成することできる。		
		10週	プレゼンテーションソフト (PowerPoint) の使い方2		プレゼンテーションソフトで簡単なスライドを作成することできる。		
		11週	UNIXの基本コマンド1		基本的なUNIXコマンドを使うことできる。		
		12週	UNIXの基本コマンド2		基本的なUNIXコマンドを使うことできる。		
		13週	Webpage作成1		簡単なWebpageを作成する事ができる。		
		14週	期末試験				
		15週	Webpage作成2		簡単なWebpageを作成する事ができる。		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識を活用できる。	4		
				論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。	4		
				コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	4		
				情報伝達システムやインターネットの基本的な仕組みを把握している。	4		
				情報セキュリティの必要性および守るべき情報を認識している。	4		
				個人情報とプライバシー保護の考え方についての基本的な配慮ができる。	4		
				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威を認識している	4		

				インターネット(SNSを含む)やコンピュータの利用における様々な脅威に対して実践すべき対策を説明できる。	4	
専門的能力	分野別の専門工学	情報系分野	プログラミング	与えられた問題に対して、それを解決するためのソースプログラムを記述できる。	4	
			計算機工学	基数が異なる数の間で相互に変換できる。	4	
				整数を2進数、10進数、16進数で表現できる。	4	
				小数を2進数、10進数、16進数で表現できる。	4	

評価割合

	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
UNIX	20	10	0	0	0	0	30
ワープロソフト	20	5	0	0	0	0	25
表計算ソフト	10	20	0	0	0	0	30
プレゼンテーションソフト	10	5	0	0	0	0	15